

第 5 回日本心臓弁膜症学会 開催にあたり

この度、第 5 回日本心臓弁膜症学会を「Toward New Trend of Valvular Heart Disease Therapeutics ―弁膜症治療の新しい潮流―」をメインテーマとして、平成 26 年 12 月 5 日（金）・6 日（土）の 2 日間、THE GRAND HALL において開催することとなりました。

本学会では、内科医、外科医、看護師、技師などが参集して弁膜症治療の進歩発展に寄与することを目的としており、今回で 5 回目の学術集会となります。

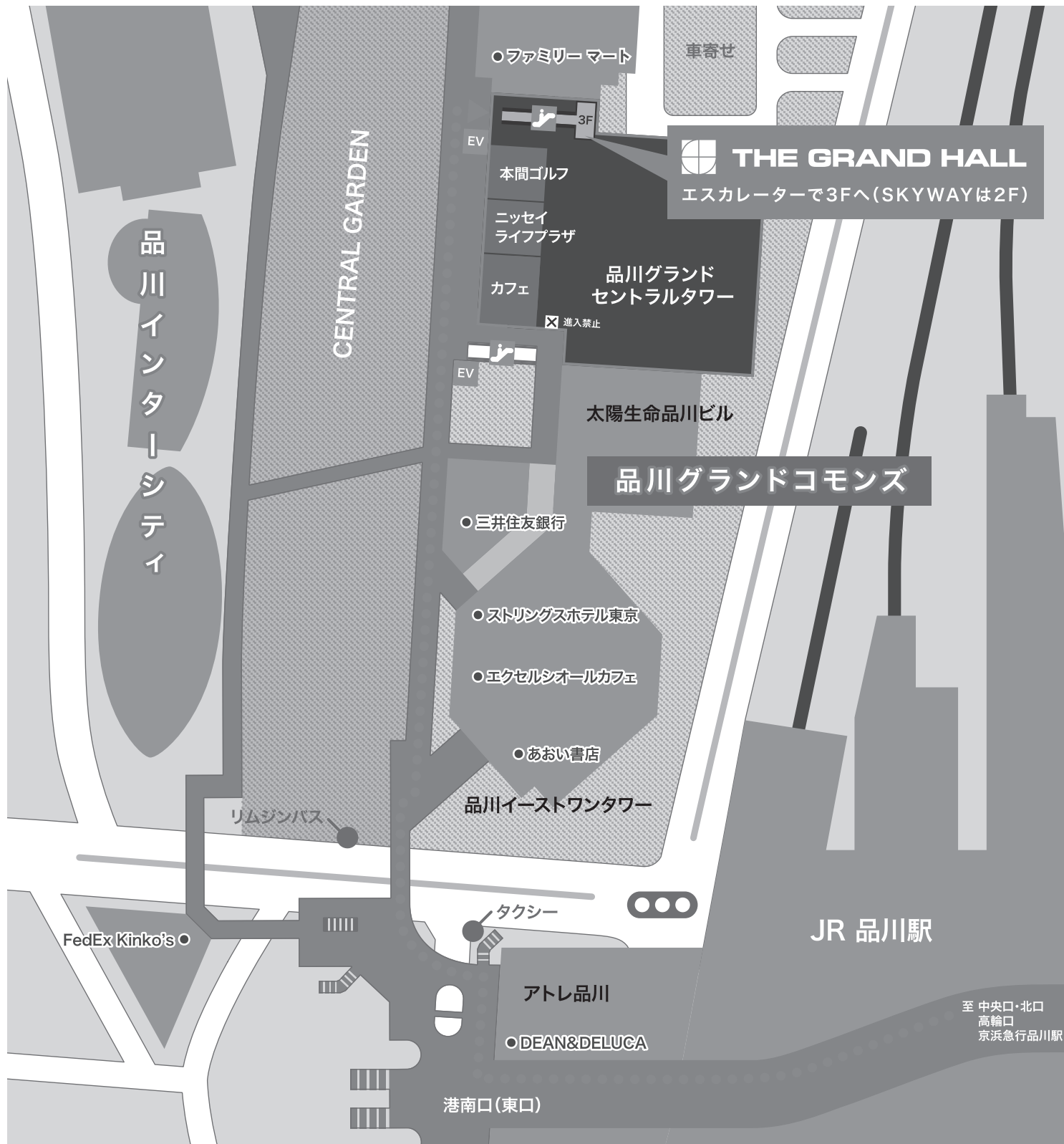
今回は、Dr. Rüdiger Lange (Germany)、塩田隆弘先生 (U.S.A.)、Dr. Randolph P. Martin (U.S.A.)、Dr. Kuan-Ming Chiu (Taiwan, R.O.C.)、Dr. Vinayak Bapat (England) の 5 氏を海外からのゲストとしてお迎えいたしました。

また、今回のプログラムの司会、講師をお引き受けいただいた多くの先生方のご協力があり今回の学会が開催されますことを心より感謝申し上げます。

学会両日を通して講師と参加者によるディスカッションがそれぞれのセッションにて大いに盛り上がるよう、プログラム内容を吟味いたしました。実り多い学会となり、より多くの方にご参加をいただけるよう期待しております。

平成 26 年 12 月

第 5 回日本心臓弁膜症学会
会長 岡林 均
岩手医科大学 心臓血管外科学講座
有田 武史
九州大学病院 ハートセンター内科



THE GRAND HALL

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー 3F TEL: 03-5463-9973 [受付専用]

電車でお越しの方

JR品川駅・新幹線品川駅をご利用の場合

JR 品川駅の改札口を出て、港南口（東口）方面へ進み、アトレ品川などの入口を過ぎて連絡通路を抜けたら右折してください。前方に「あおい書店」が見えますので、そちらの方面にお進み下さい。そのままグランド commons の通路（SKYWAY 2F）を進み、品川セントラルタワーの「カフェ」「ニッセイライフプラザ」「本間ゴルフ」を右側に通り返したら、右側の入口からビル内へ。エスカレーターで3Fに上がり、右側のエントランスからお入り下さい。【徒歩3分】

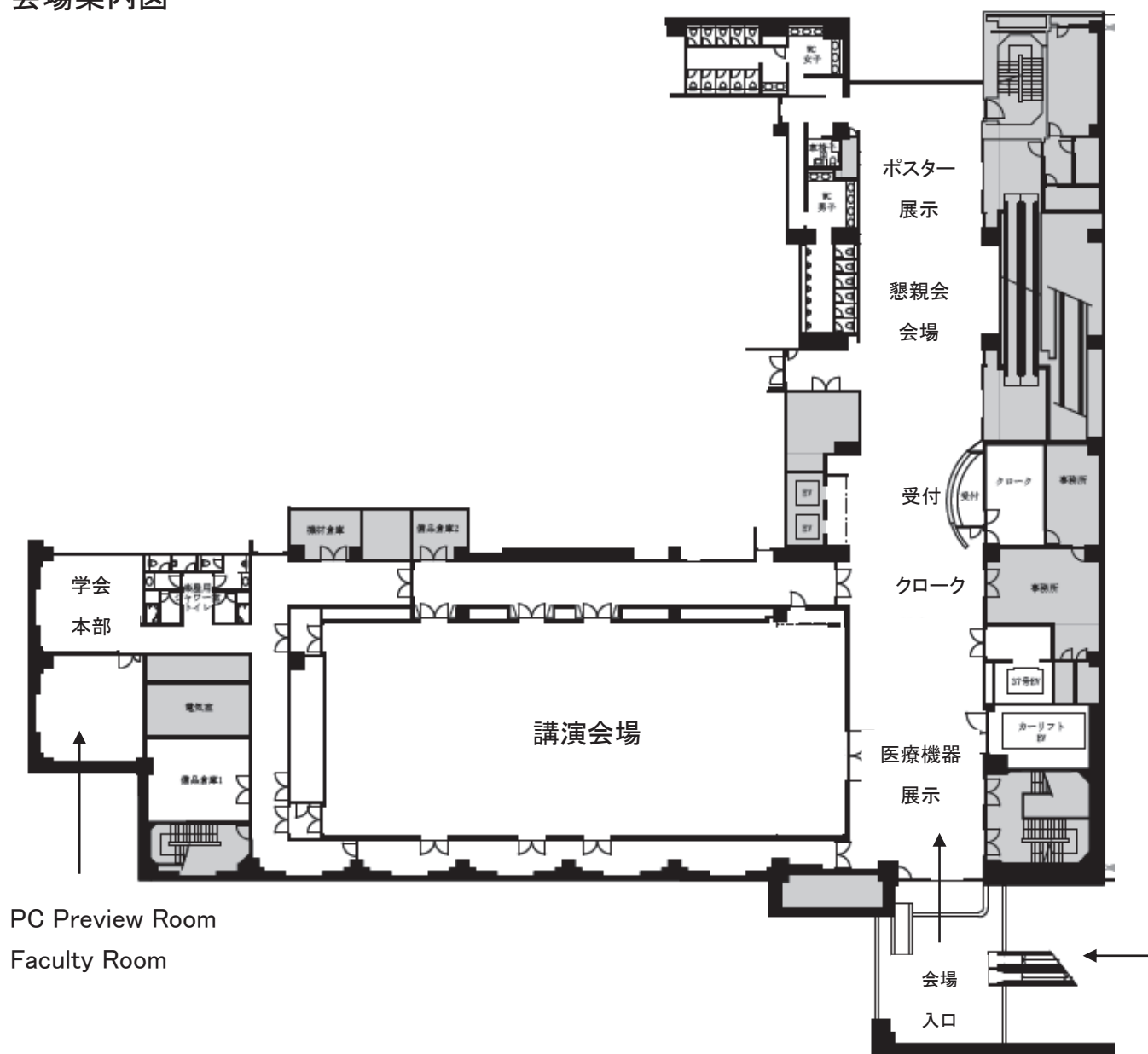
京浜急行品川駅をご利用の場合

京浜急行で品川駅からお越しの場合、改札を出て10m程度先の右側に港南口（東口）への連絡通路（階段・エスカレーター）がありますのでそちらからお進み下さい。そのままお進みになり、JR品川駅の改札口を通過後は、JR品川駅ご利用の場合と同様です。【徒歩6分】

タクシーでお越しの方

品川グランドセントラルタワー・三菱重工の車寄せをご利用いただき、GRAND PASSAGE（グランパサージュ）入口よりエスカレーターで3階にお上がり下さい。

会場案内図



ご参加の皆様へ

参加受付は 7:30 より開始いたします。ロビーにて医療機器展示を設置いたしますので、お立ち寄りください。

ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。(駐車券の発行はございません。)

ご発表者の皆様へ(ご講演規定)

■口演(指定演題)

口演発表はすべて PC プレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認ください。

発表言語は日本語、スライドの言語は日本語または英語でお願い申し上げます。

発表データ受付

1) 受付場所・時間

THE GRAND HALL 3 階ロビー

12 月 5 日(金)7:30～17:30 / 12 月 6 日(土)7:30～11:30

- ・ご発表セッション開始時刻の 30 分前までに必ずデータ受付、接続チェックを済ませてください。なお、データ受付では、データの修正はできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・データ受付では、データをダウンロードし、メディアはその場で返却いたします。なお、発表のためにダウンロードをしたデータは会期終了後に、学会事務局にてすべて消去いたします。
- ・PC 持ち込みの場合は、受付にてデータの確認のみを行い、ご自身で会場内へ運んでいただきます。会場内におりますオペレータに PC をお渡しいただき、セッション終了後にご自身でのお引取りをお願いいたします。

2) データ持ち込みもしくは PC 持ち込みにて受け付けます。下記の各持ち込みの際の注意事項をご参照ください。

	データ持ち込み	PC 持ち込み
Windows	○	○
Macintosh	×	○

【データ持ち込みの際の注意事項】

①事務局にてご用意しております PC は、OS:Windows7、アプリケーション:Powerpoint2003・2007・2010 に対応しております。同環境にて正常に作動するデータをご用意ください。

②フォントは、Windows 版 Microsoft PowerPoint に標準搭載されたものをご使用ください。

※上記指定外のフォントを使用した場合、文字、段落のずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。

③動画がある場合はご自身の PC をご持参ください。

④Windows で作成したご発表データは USB、CD-R のご持参でも受付可能です。データのみご持参の場合、万一、PowerPoint へのリンクが切れてしまった時の対応策として動画・音声のオリジナルファイルもご持参ください。

⑤Macintosh をご使用されている場合には、ご自身の PC を持参された場合のみの受付とさせていただきます

ます。Mac のスリープモードは解除してください。

⑥ファイル名は、「演者名.pptx」または「演者名.ppt」として作成してください。

【PC をご持参いただく際の注意事項】

①会場内での接続コネクタは、D-sub 15pin タイプです。PC の外部モニター出力端子の形状をご確認ください。変換コネクタが必要な場合は、必ずご自身でご用意ください。

②AC アダプターは必ず各自ご持参ください。

③接続トラブルなどの場合に備え、バックアップデータを必ずお持ちください。

④あらかじめ、スクリーンセーバーや省電力設定を解除してからお持ち込みください。起動時にパスワードなどを設定している場合は、必ず解除しておいてください。

⑤動画の参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに入れてください。

動画ファイルについては、標準の Windows Media Player で再生できる物をお持ちください。

■ポスターセッション(一般演題)

1) 発表

場所: THE GRAND HALL 3 階ホワイエ

時間: 12 月 5 日 (金) 13:00~14:00

発表言語は日本語でお願い申し上げます。

2) 掲示・撤去

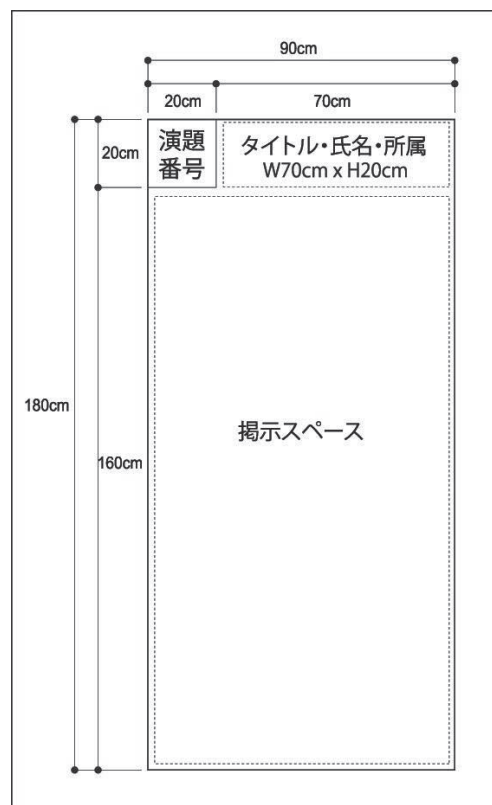
掲示は 12 月 5 日 (金) 7:30~12:00、

撤去は 12 月 5 日 (金) 15:00~16:00 にお願いします。

ポスターパネルの掲示サイズは W90cm×H180cm です。

事務局にて左上に 20cm×20cm の演題番号を貼付します。

H20 cm×W70 cm のサイズでタイトルをご用意ください。



■ご講演の時間規定

各演題のご発表時間は以下の通りです。

会の円滑な運営のため、ご発表のお時間は厳守いただきますようお願い申し上げます。

◆ランチョンセミナー、イブニングセミナー、モーニングセミナー: 30 分(質疑応答時間含む)

◆ポスターセッション(一般演題): 8 分(発表 5 分、討論 3 分)

◆その他セッション: 予め指定された時間(演者に個別に連絡いたします。)

第 5 回日本心臓弁膜症学会 日程表
12 月 5 日(金)

8:00-8:05	開会の挨拶 会長 岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科学講座)
8:05-9:35	セッション 1 感染性心内膜炎の至適手術時期 座長 大門雅夫 (東京大学 検査部／循環器内科) 江石清行 (長崎大学病院 心臓血管外科)
9:35-10:50	セッション 2 僧帽弁形成術の Real world 座長 室生 卓 (倫生会 みどり病院) 岡田行功 (倫生会 みどり病院 心臓弁膜症センター)
10:50-12:00	セッション 3 弁膜症治療を決定するイメージング 座長 山田 聡 (北海道大学病院 循環器内科)
12:00-12:30	ランチョンセミナー1 外科医に必要なエコーの知識 同時通訳 座長 渡辺弘之 (東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター) 講師 塩田隆弘 (University of California, Los Angeles) 共催: 日本ライフライン株式会社
12:30-13:00	ランチョンセミナー2 MICS(Aortic valve) 同時通訳 座長 岡田行功 (倫生会 みどり病院 心臓弁膜症センター) 講師 Kuan-Ming Chiu (Far Eastern Memorial Hospital) 共催: エドワーズライフサイエンス株式会社
13:05-13:55	ポスターセッション (一般演題) 座長 尾辻 豊 (産業医科大学 第二内科学) 芦原京美 (東京女子医科大学 循環器内科) 倉田 篤 (大和成和病院 心臓血管外科) 会場: 3 階ホワイエ (講演会場外)
14:00-15:30	セッション 4 MICS 同時通訳 座長 夜久 均 (京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学) 中野清治 (東京女子医科大学東医療センター 心臓血管外科) Key note lecture Kuan-Ming Chiu (Far Eastern Memorial Hospital)
15:30-15:40	休憩
15:40-16:30	セッション 5 弁膜症に合併する心房細動に対する外科治療 座長 川合宏哉 (兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科) 小林順二郎 (国立循環器病研究センター 心臓血管外科)
16:30-17:30	セッション 6 三尖弁逆流に対する治療 座長 芦原京美 (東京女子医科大学 循環器内科) 田中啓之 (久留米大学 外科学講座)
17:30-18:00	イブニングセミナー1 心房細動に対する new device 「WATCHMAN と抗凝固療法」 座長 岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科学講座) 講師 原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科) 共催: ブリストル・マイヤーズ株式会社／ファイザー株式会社
18:00-18:30	イブニングセミナー2 当院における心不全チーム医療 座長 岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科学講座) 講師 松川龍一 (福岡県済生会福岡総合病院 循環器内科) 共催: 大塚製薬株式会社

第 5 回日本心臓弁膜症学会 日程表
12 月 6 日(土)

8:00-8:30	モーニングセミナー Aortic valve のエコー診断 同時通訳 座長 有田武史 (九州大学病院 ハートセンター内科) 講師 Randolph P. Martin (Piedmont Heart Institute) 共催: セント・ジュード・メディカル株式会社
8:30-10:30	TAVI セッション 同時通訳 座長 林田健太郎 (慶應義塾大学 循環器内科) 小宮達彦 (倉敷中央病院 心臓血管外科) Key note lecture Rüdiger Lange (German Heart Center Munich) 「Troubleshooting of TAVI」 Vinayak Bapat (Guys and St. Thomas' Hospital)
10:30-12:00	大動脈弁形成術/自己弁温存大動脈基部再建術 同時通訳 座長 川副浩平 (関西医科大学附属滝井病院 心臓血管外科) 岡林 均 (岩手医科大学 心臓血管外科学講座)
12:00-12:30	ランチョンセミナー3 Current Catheter Therapy for Mitral Valve Disease 同時通訳 座長 川副浩平 (関西医科大学附属滝井病院 心臓血管外科) 講師 Rüdiger Lange (German Heart Center Munich)
12:30-	閉会の挨拶 会長 有田武史 (九州大学病院 ハートセンター内科) 次期会長 高梨秀一郎 (榊原記念病院 心臓血管外科)

第5回日本心臓弁膜症学会 プログラム

12月5日(金)

8:00~8:05 開会の挨拶

会長: 岩手医科大学 心臓血管外科学講座 岡林 均

8:05~9:35 セッション1 感染性心内膜炎の至適手術時期

座長: 東京大学 検査部/循環器内科 大門 雅夫
長崎大学病院 心臓血管外科 江石 清行

1. 感染性心内膜炎のエコー診断

長崎大学病院 循環器内科 恒任 章

2. 早期手術

東京慈恵会医科大学 心臓外科 橋本 和弘

3. 待機手術の方針

小牧市民病院 心臓血管外科・弁膜症センター 澤崎 優

4. 活動期感染性心内膜炎の脳合併症急性期における手術

神戸大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 大北 裕

5. ディスカッション

9:35~10:50 セッション2 僧帽弁形成術の Real world

座長: 倫生会 みどり病院 室生 卓
倫生会 みどり病院 心臓弁膜症センター 岡田 行功

1. 僧帽弁逆流のエコー診断

札幌心臓血管クリニック 循環器内科 古堅 あずさ

2. degenerative MR に対するアプローチ Resect or Respect? —Resect

長崎大学病院 心臓血管外科 江石 清行

3. degenerative MR に対するアプローチ —Respect

大阪市立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 柴田 利彦

4. ischemic MR に対するアプローチ

北海道大学 循環器・呼吸器外科 松居 喜郎

5. 僧帽弁形成術後の再手術症例の検討

神戸市立医療センター中央市民病院 心臓血管外科 小山 忠明

10:50～12:00 セッション3 弁膜症治療を決定するイメージング

座長: 北海道大学病院 循環器内科 山田 聡

1. ACC/AHA ガイドラインの意味とその活かし方

東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター 渡辺 弘之

2. 3D エコーの活用法

神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野 田中 秀和

3. 負荷エコーのコツ

島根大学 循環器内科 田邊 一明

4. CT を用いた大動脈弁・僧帽弁周囲の評価

聖路加国際病院 循環器内科 新沼 廣幸

5. 症例検討

12:00～12:30 ランチョンセミナー1

《同時通訳》

座長: 東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター 渡辺 弘之

外科医に必要なエコーの知識

Professor of Medicine at Cedars Sinai Medical Center,

Clinical Professor of Medicine at UCLA (University of California, Los Angeles) 塩田 隆弘

共催: 日本ライフライン株式会社

12:30～13:00 ランチョンセミナー2

《同時通訳》

座長: 倫生会 みどり病院 心臓弁膜症センター 岡田 行功

MICS (Aortic valve)

Chief of Division of Cardiovascular Surgery, Chief of Cardiovascular Center,

Far Eastern Memorial Hospital Kuan-Ming Chiu

共催: エドワーズライフサイエンス株式会社

13:05～13:55 ポスターセッション (一般演題)

【会場: 3 階ホワイエ】

座長: 産業医科大学 第2内科学 尾辻 豊

P1-1 収縮期僧帽弁逆流の最小化を目指した心臓再同期療法患者に対するペースメーカー設定の至適化

伊勢赤十字病院 循環器内科 杉本 匡史

P1-2 血液培養陰性の疣腫により多発性脳梗塞と高度僧帽弁閉鎖不全症をきたした一例

神戸大学大学院 医学研究科 循環器内科学分野 堂國 久美子

P1-3 慢性心房細動を伴った心不全患者において二次性僧帽弁逆流は独立した予後規定因子である

春秋会 城山病院 心臓血管センター 伊東 風童

P1-4 心房細動に伴う僧帽弁逆流の原因は弁輪拡大だけか？

3 次元経食道心エコー図検査による僧帽弁形態の動的評価

筑波大学人間総合科学研究科 循環器内科 町野 智子

P1-5 治療方針決定にドブタミン負荷心エコー図検査が有効であった僧帽弁輪形成術後の一症例

大阪警察病院 循環器内科 竹田 泰治

座長:

東京女子医科大学 循環器内科 芦原 京美

P2-1 ペースメーカーリード起因性三尖弁逆流症の有病率とリスクファクターについて:

3 次元心エコー図による検討

(株)日立製作所 ひたちなか総合病院 循環器内科、
筑波大学臨床医学系 循環器内科 川松 直人

P2-2 成人 Ebstein 病の 2 症例

長崎大学病院 循環器内科 恒任 章

P2-3 孤立性心房細動に関連した高度三尖弁逆流の臨床的特徴と実地診療

天理よろづ相談所病院 循環器内科 三宅 誠

P2-4 外科的大動脈弁置換術と比較した経カテーテル大動脈弁置換術後の血行動態における狭小弁輪の影響

小倉記念病院 循環器科 上岡 智彦

P2-5 大動脈弁狭窄症の重症度評価および心血管イベント予測における 3D 心エコー図法の有用性

筑波大学 循環器内科 佐藤 希美

P2-6 Perpendicular view で留置するも basal ring とのずれを生じた経皮的動脈弁留置術 2 症例の検討

九州大学病院 ハートセンター・第一内科 横山 拓

座長:

大和成和病院 心臓血管外科 倉田 篤

P3-1 大動脈弁置換術後の拡張不全と術後心房細動

兵庫県立淡路医療センター 心臓血管外科 森本 喜久

P3-2 TAVI 術中に計画的に PCPS を使用した 2 症例の検討

九州大学病院ハートセンター 心臓血管外科 園田 拓道

P3-3 拡張した気管支動脈は MICS の障害になり得る

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 都津川 敏範

P3-4 Capnocytophaga Canimorsus 感染心内膜炎の一例

沖縄県立中部病院 心臓血管外科 谷口 直樹

P3-5 慢性心房細動に起因する左房、弁輪拡大による僧帽弁閉鎖不全症例の形態

学的特徴及び弁輪縫縮術の短期成績

大阪市立総合医療センター 心臓血管外科 高橋 洋介

14:00～15:30 セッション 4 MICS

《同時通訳》

座長: 京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 夜久 均
東京女子医科大学東医療センター 心臓血管外科 中野 清治

1. Key note lecture: MICS (Aortic valve)

Chief of Division of Cardiovascular Surgery, Chief of Cardiovascular Center,
Far Eastern Memorial Hospital Kuan-Ming Chiu

2. 小切開 MICS から完全内視鏡下 MICS へ

名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科 伊藤 敏明

3. MICS の合併症に対する対策

川崎医科大学 心臓血管外科 杭ノ瀬 昌彦

4. MICS の合併症に対する対策

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 坂口 太一

5. ディスカッション

15:30～15:40 休憩

15:40～16:30 セッション 5 弁膜症に合併する心房細動に対する外科治療

座長: 兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 川合 宏哉
国立循環器病研究センター 心臓血管外科 小林 順二郎

1. 心房細動に対する外科治療

小倉記念病院 心臓血管外科 羽生 道弥

2. 心房細動治療のキーポイントと落とし穴

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学／先進心血管治療学寄附講座 奥山 裕司

3. 心臓手術後心房頻拍に対するカテーテルアブレーション

大垣市民病院 循環器内科 森島 逸郎

16:30～17:30 セッション 6 三尖弁逆流に対する治療

座長: 東京女子医科大学 循環器内科 芦原 京美
久留米大学 外科学講座 田中 啓之

1. 三尖弁逆流のエコー評価

大阪市立総合医療センター 循環器内科 阿部 幸雄

2. 三尖弁逆流に対する内科治療

国立循環器病研究センター 心不全科 大原 貴裕

3. MC³ring による三尖弁形成術の早期及び中期成績からみた今後の三尖弁形成術の展開

昭和大学江東豊洲病院 循環器センター 心臓血管外科 山口 裕己

17:30～18:00 イブニングセミナー1 心房細動に対する new device

座長: 岩手医科大学 心臓血管外科学講座 岡林 均
WATCHMAN と抗凝固療法

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 原 英彦

共催: ブリストル・マイヤーズ株式会社／ファイザー株式会社

18:00～18:30 イブニングセミナー2

座長: 岩手医科大学 心臓血管外科学講座 岡林 均
当院における心不全チーム医療

福岡県済生会福岡総合病院 循環器内科 松川 龍一

共催: 大塚製薬株式会社

18:40～20:00 懇親会

【会場: 3 階ホワイエ】

第5回日本心臓弁膜症学会 プログラム

12月6日(土)

8:00～8:30 モーニングセミナー

《同時通訳》

座長:

九州大学病院 ハートセンター内科 有田 武史

Aortic valve のエコー診断

Chief, Valvular & Structural Heart Disease, Piedmont Heart Institute

Physician Principal Advisor, Educational Programs, Marcus Heart Valve Center

Consultant, Noninvasive Cardiology Randolph P. Martin

共催:セント・ジュード・メディカル株式会社

8:30～10:30 TAVI セッション

《同時通訳》

座長:

慶應義塾大学 循環器内科 林田 健太郎

倉敷中央病院 心臓血管外科 小宮 達彦

Key note lecture:ヨーロッパにおける TAVI の現状

Director of the Clinic for Cardiovascular Surgery,

German Heart Center Munich Rüdiger Lange

日本における TAVI 導入システムと成績

大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科 鳥飼 慶

Troubleshooting of TAVI

Consultant Cardiac Surgeon, Guys and St.Thomas' Hospital Vinayak Bapat

老年病専門医からみた TAVI

トラストクリニック等々力 老年内科 大蔵 暢

TAVI に固執しない、積極的な大動脈弁治療

榊原記念病院 循環器内科 桃原 哲也

Aiming for the best surgical AVR in TAVI era

滋賀医科大学 心臓血管外科 浅井 徹

ディスカッション

10:30～12:00 大動脈弁形成術/自己弁温存大動脈基部再建術 ≪同時通訳≫

座長: 関西医科大学附属滝井病院 心臓血管外科 川副 浩平
 岩手医科大学 心臓血管外科学講座 岡林 均

ここまでできる suture annuloplasty

心臓血管研究所附属病院 心臓血管外科 國原 孝

大動脈弁形成術の限界 パッチを用いた術式について

倉敷中央病院 心臓血管外科 小宮 達彦

ここまでできる自己弁温存大動脈基部再建術

榊原記念病院 心臓血管外科 高梨 秀一郎

自己弁温存大動脈基部置換術の限界

神戸大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 大北 裕

ディスカッション

12:00～12:30 ランチョンセミナー3 ≪同時通訳≫

座長: 関西医科大学附属滝井病院 心臓血管外科 川副 浩平

Current Catheter Therapy for Mitral Valve Disease

Director of the Clinic for Cardiovascular Surgery,

German Heart Center Munich Rüdiger Lange

12:30～ 閉会の挨拶

会長: 九州大学病院 ハートセンター内科 有田 武史

次期会長: 榊原記念病院 心臓血管外科 高梨 秀一郎